

活動報告

ことばのかたち



作品をよーく見てみると、小さな点(てん)があつまって、形を作っているのがわかったよ！



作品を見てイメージしたあとは、好きな言葉(ことば)を、好きな色や形でかいてみるよ。



この色がいいんじゃない？おかあさんと、そうなんです。



できあがった作品をつかって、今年(ことし)のすてきなカレンダーを作りました。

今回は、コレクション展「形のはじまり」に関連して、鑑賞ワークショップ「ことばのかたち」を企画しました。大人の方には敬遠されがちな抽象画ですが、実は、一番鑑賞が面白いのが、この抽象画なのです。

「何が描いてあるのかわからない」から、抽象画は難しい…つい、そう考えてしまいがちですが、子どもたちは自由な発想でのびのびと鑑賞します。私たちスタッフが、ほんの少しだけ質問を投げかけるだけで、大人のいう「何が描いてあるのかわからない」絵が、「人が立っている」「何か持っている」絵になります。「無題」という抽象作品は、魚になり、水になり、星になり…子どもの感性の豊かさには、心の中で舌を巻くこともたびたびです。

季節柄、参加のキャンセルも多く、ちょっぴりさびしい人数での開催となりましたが、小学校就学前の小さなお友達がお父さん、お母さんと一緒に参加してくれ、しっかりと自分の思いを語ってくれたのには感動しました。美術館デビューに「まだ早い」はありません。どうぞお子さんの手を引いて、美術との初めての出会いを体験してください。

[* 教育普及のページに戻る *](#)